

# 研究協力をお願い

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

## 大学ラグビー選手のポジション別による肩関節機能および体幹機能の調査

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2019年4月1日から2023年3月31日までに本学スポーツ運動科学研究所でメディカルチェックを行った大学ラグビー選手のうち、選手背景（年齢、身長、体重、既往歴、ポジション）、肩関節・肩甲骨上方回旋可動域、体幹筋力が測定可能であった選手

### 2. 研究目的・方法

ラグビーは激しい身体接触を伴うコリジョンスポーツの一つであり、他の競技と比較して肩関節傷害の割合が高いとされます。肩関節傷害の中でも肩関節前方脱臼はラグビー選手に好発し、脱臼の有無は選手のパフォーマンスにも影響します。このことから、肩関節前方脱臼を予防することはラグビーを行う上で重要となります。肩関節前方脱臼に関する要因としては肩関節可動域だけでなく、肩甲骨上方回旋機能も必要とされる。さらに、肩甲骨上方回旋機能を発揮するためには体幹機能も重要となります。

ラグビーにおいては各ポジションでの役割が異なり、プロップやフッカーといったフォワードに位置する選手はウィングやセンターなどのバックスに位置する選手に比較し、相手選手との身体接触が多いです。身体接触が多いことは肩関節前方脱臼の危険性を高くさせることから、フォワードに位置する選手はバックスに位置する選手より、肩関節機能や体幹機能がより必要になると考えられます。しかし、これまでの研究では、ポジションによる身体機能の差を検討したものはなく、不明な点が多いのが現状です。ポジション別による身体機能の差を明らかにできれば、ポジション別による肩関節脱臼予防にも役立てることができると考えております。

そこで本研究は、本学スポーツ運動科学研究所で実施している大学ラグビー選手メディカルチェックの測定項目のうち肩関節・肩甲骨上方回旋機能および体幹機能をラグビーポジション別に比較し、各ポジションにおける身体機能の特徴を明らかにすることを目的とします。

2019年4月1日から2023年3月31日までに本学スポーツ運動科学研究所でメディカルチェックを行った大学ラグビー選手の診療情報を利用します。選手背景（年齢、身長、体重、既往歴、競技歴、ポジション）、肩関節可動域、体幹筋力、および単純X線正面像から検討可能な肩甲骨上方回旋機能を調査項目とします。

肩関節可動域はゴニオメーター（角度計）を用い、屈曲および外旋可動域を測定します。肩甲骨上方回旋可動域は上肢下垂位および挙上位にて肩甲棘に傾斜計を当てて、肩甲棘と水平線がなす角度を計測します。体幹筋力は屈曲、伸展、側屈の筋力をストップウォッチを用いて測定します。体幹屈曲筋力は股関節、膝関節 90 度屈曲位かつ体幹 60 度屈曲位を開始肢位とし、その開始肢位を保持できる時間を計測します。体幹伸展筋力はベッド上で腹臥位かつ骨盤をベッド端に合わせた肢位を開始肢位とし、その開始肢位を保持できる時間を計測します。この時に下肢は検者によって固定します。体幹側屈筋力はベッド上で側臥位かつ骨盤をベッド端に合わせた肢位を開始肢位とし、その開始肢位を保持できる時間を計測します。この時に下肢は検者によって固定します。

### 3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2024 年 3 月 31 日まで

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

2019 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに本学スポーツ運動科学研究所でメディカルチェックを行った大学ラグビー選手の診療録の中から、選手背景（年齢、身長、体重、既往歴、ポジション）、肩関節・肩甲骨上方回旋可動域、体幹筋力を調査項目とします。

### 5. 外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用の ID を付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和大学藤が丘リハビリテーション病院の外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され、研究者のみがアクセス、閲覧できるようにします。

### 6. 研究組織

藤が丘リハビリテーション病院 責任者名：阿蘇卓也  
昭和大学スポーツ運動科学研究所 責任者名：田村将希

### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーションセンター  
氏名：阿蘇卓也  
住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 2 丁目 1 番 1 号  
電話番号：045-974-2221/3635(内線)